

府中病院薬薬連携研修会アンケート結果集計

日時：平成 22 年 10 月 23 日（土）15:30～17:30

場所：府中病院 地下 1 階 セミナーホール

参加者：計 33 名

【演題】「府中病院の外来治療室の概要」

A：よくわかった（15 人）B：だいたいわかった（7 人）

C：あまりよくわからなかった D：わからなかった

- ・院内での化学療法について知る事ができた。薬局さんでは、どのように行われているのか知りたいです。
- ・外来化学療法における概要や薬剤師の関与がよく分かりました。
- ・上期に病院実習に行っていたので、すごくイメージしやすく、分かりやすかったです。
- ・府中病院に外来化学療法室があるのを知りました。
- ・外来化学療法加算というものがあるのを今回初めて知りました。これからの外来受診の指導として、院内外の薬剤師できちんと指導する事が患者の安全にとって必要な事だと感じました。
- ・外来治療のおおまかな内容がわかりました。

【特別講演】「胃癌の治療 ～抗がん剤治療も含めて～」

A：よくわかった（12 人）B：だいたいわかった（9 人）

C：あまりよくわからなかった D：わからなかった

- ・胃のがんは多くの疾患でも症状がなく、深刻化することが多いように感じました。知らない事も詳しく聞けてとても勉強になりました。
- ・画像での説明が非常によくわかった。
- ・基礎から最新の知見が非常によく分かりました。ビデオもあってよく理解できました。
- ・普段胃癌の患者さんと接する機会がなく、とても勉強になった。
- ・まだまだ未熟で知識が少ないので、話を理解することで精一杯な部分もありましたが、胃がんの症状、進行度、治療法について分かりやすく説明していただき、勉強になりました。
- ・実際の症例を見て画像など含めながら、わかりやすく説明して頂き、知識の少ない私にでも理解しやすかったです。

・難しかったですが、臨床において抗癌剤がどのように使われているのかが分かりました。実際は大学で習った治療法だけでなく、さまざまなことが行われているんだなと思いました。

- ・胃癌のステージによる手術などの対応がよく分かりました。
- ・画像があり、とても分かりやすかったです。
- ・術後抗癌剤治療において、抗癌剤の組み合わせ、種類の違いにより、腫瘍マーカー値が変化することがグラフからよく分かりました。
- ・臨床現場で行われている薬物治療の効果説明をわかりやすく説明して頂いて、勉強になりました。
- ・わかりやすい説明をありがとうございました。
- ・一人の症例が悪化していくまで順次示していただき、よく経過がわかりました。
- ・府中病院の薬物治療、一般的なことも含めてよかったと思う。

【特別講演】「内服抗癌剤の薬剤管理指導～5-FU系薬剤を中心に～」

A：よくわかった（15人） B：だいたいわかった（5人）

C：あまりよくわからなかった（1人） D：わからなかった

・抗癌剤の5-FUについて、深く学ぶことができました。副作用の具体的な対策を患者さんにも理解していただき、しっかりと対策することが大切であると知りました。

・薬品の用法・用量等の関連・日程・投与など大体分かった。

・レジメン・副作用・対処法・指導方法など、実際の患者さんを目の前にされている薬剤師の先生にしか分からない情報もあって非常に勉強になりました。

・気をつけなければならないことを再確認できた。

・TS-1、ゼローダの作用機序、注意しなければいけない副作用、副作用が起こったときの対処法などを学ぶ事ができて、勉強になりました。

・OSCEの事前実習の時にお世話になった小泉先生のお話ですっと頭に入ってきました。基礎の基礎から詳しく説明していただき、わかりやすかったです。服薬指導の仕方などさまざまなお話が聞けて勉強になりました。

・抗癌剤の作用機序や副作用についても詳しく教えて下さったので、すごくわかりやすかったです。

・抗がん剤の副作用に対するケアがよく分かりました。

・八尾市から来ています。ちょうどアバスチンとゼローダ併用の患者を応需したばかりなので、大変勉強になりました。八尾では外来化学療法の場合、お薬手帳に記載してもらえそうな状況にありません。お薬手帳に記載してもらえるのはとてもありがたいです。

- ・内服の抗癌剤の用法・用量の注意や服薬指導で十分説明しなければいけない事についてよく分かりました。また、TS - 1とシスプラチンの併用の注意点なそについても、よく分かりました。
- ・難しかったです。
- ・TS - 1の服薬指導・具体的で分かりやすかったです。

今後企画して欲しい内容などありましたら下記に記載してください。

- ・糖尿病教室について
- ・免疫抑制薬について
- ・患者にどこまで説明・指導をすれば良いか。(薬の内容など)
- ・抗癌剤だけでなく、使用している薬剤(特に注意する薬剤)の指導
- ・他の癌の治療
- ・透析患者さんへの服薬指導について(腎不全時の仕方とか)
- ・緩和の基礎
- ・退院時共同指導、抗癌剤(胃癌以外の)
- ・緩和医療
- ・府中病院の医師の講演